

アメリカ国立衛生研究所（NIH）研究助成担当専門官の講演について

- 1 日時 平成 21 年 11 月 10 日（火） 10:00～12:00
- 2 場所 日本学術会議 5-C(2)会議室（5 階）
- 3 講演者 Neil M. Thakur, Ph.D.
(アメリカ国立衛生研究所 研究助成担当専門官)

4 講演内容

研究成果のオープンアクセス化をどう実現するかは、現状においてもまだいくつかの問題を抱えている。各国は、政府レベルで「税金を使って得た成果」に対する「オープンアクセス化」を検討中である。

アメリカ国立衛生研究所（NIH）は、Open Access とは異なる Public Access Policy を研究所の方針として持ち、アメリカ国民の健康を守るために、NIH が補助を出して得た研究成果は、PubMed Central へデポジットすることを義務化した。義務化するまでには、いくつかの問題を解決し、期間をかけて現状に至った。この講演では、歴史的背景を踏まえ NIH Public Access Policy とは何かを知ること、税金を使って得た研究成果をどのように公開すべきか、また、日本における最適なオープンアクセスとは何かを考える一助としたい。

※ 逐次通訳あり